

広報レポーターが気づいたまちの魅力

# 住みよさ実感

## 高齢者のための身近な総合窓口 ～印西南部地域包括支援センター～



広報レポーター  
美馬光実(戸神台)

地域包括支援センターは、印西北部・印西南部・船穂・印旛・本埜の市内5カ所に設置されている高齢者のための身近な総合窓口です。その中から、今回は印西南部地域包括支援センター取材しました。

当センターは、今年の4月に商業施設アルカサルから、コスモスパレット パレットⅡの2階へ移転しました。場所が少し分かりにくくなりましたが、以前よりも相談ブースが広くなり、余裕を持って対応できるようになりました。

当センターでは、さまざまな相談業務の他に、オレンジカフェ(認知症カフェ)や男声歌声サロン「にじいろ」を開催し、高齢者に向けた楽しい交流の場を提供しています。また、地域に向けた出前講座も開催しており、当センターの業務内容についてはもちろん、認知症や介護保険、高齢者の福祉サービスなどの勉強会も行っています。昨年度は14カ所からお声掛けいただいたそうです。

このような取り組みにもかかわらず、まだまだ地域の高齢者やそのご家族の方々へ、十分に認知されていないことが悩みどころ。そこで、印西南部地域包括通信の年4回の配布や、地域の皆さん、民生委員、警察、消防署、医療機関などと協力して、高齢者の問題を早期に発見し、当センターへつながるような地域づくりを進めているそうです。



相談ブース



男声歌声サロン「にじいろ」



印西南部地域包括支援センター  
職員の皆さん

「困る前に、ぜひ来て欲しい」と所長の太田さん。困り事が大きくなる前に、ぜひ気軽にご相談に伺ってみたいはいかがでしょうか。アットホームな雰囲気での職員の皆さんがお待ちしております。

☎印西南部地域包括支援センター

☎37-3120

(平日8時30分～17時15分)



▲今年度の各月の  
レポートはこちら